

令和8年度

監 査 報 告 書 I

(定期監査・前期)

飯 田 市 監 査 委 員

飯田市長 佐藤 健 様
飯田市議会議員 竹村 圭史 様
飯田市教育長 熊谷 邦千加 様

飯田市監査委員 戸崎 博
飯田市監査委員 島田 勝介
飯田市監査委員 清水 勇

監査結果の報告について

飯田市監査基準並びに地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定により実施した令和8年度定期監査の結果を、同条第9項の規定により報告します。

なお、同条第14項の規定により、監査結果に基づき、又は監査の結果を参考として措置を講じたときは、その旨を監査委員に通知してください。

第1 監査の種類

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項の規定による定期監査（前期）

第2 監査の対象及び期日

1 予備監査（現金及び物品等検査）

監査期日	監査対象	実施場所
4月21日	丸山、座光寺、下久堅、上久堅及び上郷西の各保育園	現地
4月22日	三穂、山本、龍江、川路及び竜丘の各自治振興センター並びに各公民館	現地
4月24日	座光寺、松尾、下久堅、上久堅及び千代の各自治振興センター並びに各公民館	現地

2 面接監査

監査月日	監査実施部署	実施場所
6月1日	【保育家庭課】 丸山、座光寺、下久堅、上久堅及び上郷西の各保育園	監査室
6月3日	【地域自治振興課】【市公民館】 座光寺、松尾、下久堅、上久堅、千代、龍江、竜丘、川路、三穂及び山本の各自治振興センター並びに各公民館	監査室

3 書類監査

監査実施部署	【地域自治振興課】【市公民館】 橋北、橋南、羽場、丸山、東野、伊賀良、鼎、上郷、上村及び南信濃の各自治振興センター並びに各公民館 【保育家庭課】 龍江、竜丘、川路、三穂、山本、中村、殿岡、鼎みつば、上村及び和田の各保育園
--------	---

第3 監査の着眼点

地方自治法第199条第1項の規定による財務監査のみならず、事務事業の執行が経済性、効率性、有効性、法令遵守等に則って適正に行われているかという、同条第2項の規定による行政監査の観点にも留意し実施した。

第4 監査の主な実施内容

財務に関する事務の執行等について、あらかじめ指定して提出を求めた予算の執行状況及びその他関係資料に基づき、所管の長及び関係職員から説明を聴取した。

また、現金の取扱、物品等の管理状況について予備監査を実施した。

第5 監査の期間

令和8年3月9日から令和8年8月18日まで

第6 監査の結果

予算の執行及び財産、物品等の管理は、概ね適正に処理されていたことを認めたが、次のとおり、一部に改善の検討を要する事項があったので、内容を十分把握して、それぞれ必要な措置を講じられたい。

また、第8に監査結果に基づき講じた措置の状況を掲載した。

【監査結果件数】

主管部署	面接監査実施部署数	監査結果件数		
		指摘事項	指導事項	検討要望事項
地域自治振興課	自治振興センター 10	0	1	1

保 育 家 庭 課	保 育 園	5	0	0	3
市 公 民 館	地 区 公 民 館	10	0	0	3
合 計		25	0	1	7

【監査結果の区分】

指 摘 事 項： 財務に関する事務の執行について、是正又は改善を求めるもの

指 導 事 項： 是正又は改善を求める事項のうち、軽微なもの

検討要望事項： 制度又は運用について改善の検討を求めるもの、複数の部署に対して統一的な指導を求めるもの

1 地域自治振興課

(1) 指摘事項

なし

(2) 指導事項

一部の自治振興センターにおいて、施設整備工事費にかかる支出負担行為決議が、契約締結時になされていないことを認めた。支出負担行為決議漏れが発生しない仕組みを構築するとともに、地域自治振興課においては、各自治振興センターに周知徹底を図ること。

【地域自治振興課】【各自治振興センター】

(3) 検討要望事項

各地区において、委員会、部会等の組織の見直し、会議時間の短縮、会議回数の縮減など役員の負担軽減につながる取組を認めた。地域自治振興課及び各自治振興センターは、各地区で市からの依頼事業と地区独自の実施事業の必要性、内容等を整理し、事業の見直しが行われるよう、改善事例を横展開し、各地区の特性に応じた役員負担軽減につながる業務改善の取組を支援されたい。

【地域自治振興課】【各自治振興センター】

2 保育家庭課

(1) 指摘事項

なし

(2) 指導事項

なし

(3) 検討要望事項

ア 熊の目撃情報が度々報告されていることを受け、保育家庭課及び各保育園は、庁内関連部署と連携し、保育活動中の熊との遭遇回避や遭遇した場合のための装備品を検討し、各園に配備されたい。また、保育家庭課は保育園共通の熊出没時の対応マニュアルを、各保育園は自園の実情に即した初動対応マニュアルの策定を検討するとともに、避難訓練に盛り込むなどし、園児と職員の安全確保に努められたい。

【保育家庭課】【各保育園】

イ 各保育園において、地域活動事業費を活用し、地域と密着した特徴ある様々な取組が展開されていることを認めた。引き続き、地域資源を活用して積極的に地域の方々と交流し、当市独自の「いいだ型自然保育」を推進されたい。

【保育家庭課】【各保育園】

ウ 一部の保育園で、定員充足率が継続的に大幅に低下していることを認めた。各園の特色ある取組、運営方針等を様々な手法で地域内外へ発信し、園児の確保に努められたい。

【保育家庭課】【各保育園】

3 市公民館

(1) 指摘事項

なし

(2) 指導事項

なし

(3) 検討要望事項

ア 各公民館において、委員会、部会等の組織の見直し、会議時間の短縮、会議回数の縮減など役員の負担軽減につながる取組を認めた。市公民館及び各公民館は、各地区で公民館事業の必要性、内容等を今一度整理し、更なる事業の見直しが行われるよう、改善事例を横展開し、各地区の特性に応じた役員負担軽減につながる業務改善の取組を支援されたい。

【市公民館】【各公民館】

イ 全公民館において、「ハマコミる（地域や活動にハマってコミットする・コミュニティが広がるという意味の造語）」を、公民館活動を推進するための共通の考え方と位置づけ、担い手や住民同士の良好な関係性を育むために様々な取組が展開されていることを認めた。「ハマコミる」の考え方を多くの地域住民に浸透させるとともに、公民館活動に関心のあ
る人材の発掘につなげるよう努められたい。

【市公民館】【各公民館】

ウ 各公民館において、中高生を含む若者を巻き込んだ取組が展開されていることを認めた。また、一部の地区で若者が企画した新たな事業に同世代が参画する事例も認めた。引き続き、将来の公民館活動へのきっかけ作りとして、中高生のボランティア参加、中高生を含む若者のアイデアを活用した事業を推進し、地域の特色を生かした公民館活動が継続されるよう支援されたい。

【市公民館】【各公民館】

第7 監査の概要

1 自治振興センター

(1) 各地区の状況

(令和8年3月末日現在 出生数は令和7年度中)

地区名		人 口 (人)	世 帯 数 (戸)	65 歳以上 人 口 (人)	高 齢 化 率	出生数 (人)	組 合 加 入 率
橋 北		2, 584	1, 362	1, 051	40. 7%	7	90. 1%
橋 南		2, 348	1, 153	906	38. 6%	9	96. 7%
羽 場		4, 633	2, 083	1, 461	31. 5%	27	81. 1%
丸 山		3, 008	1, 385	1, 068	35. 5%	11	76. 6%
東 野		2, 591	1, 271	959	37. 0%	11	94. 2%
座光寺		4, 006	1, 612	1, 414	35. 3%	20	62. 5%
松 尾		12, 588	5, 488	3, 512	27. 9%	89	54. 3%
下久堅		2, 443	946	978	40. 0%	10	92. 0%
上久堅		1, 070	462	514	48. 0%	1	97. 5%
千 代		1, 352	537	636	47. 0%	4	89. 8%
龍 江		2, 404	992	1, 052	43. 8%	9	91. 6%
竜 丘		6, 401	2, 668	2, 066	32. 3%	34	82. 1%
川 路		1, 873	781	736	39. 3%	6	91. 8%
三 穂		1, 254	454	492	39. 2%	4	97. 5%
山 本		4, 227	1, 738	1, 617	38. 3%	11	73. 8%
伊賀良		13, 608	5, 695	4, 069	29. 9%	78	46. 8%
鼎		12, 772	5, 595	3, 951	30. 9%	106	54. 7%
上 郷		12, 643	5, 522	4, 074	32. 2%	75	41. 7%
上 村		298	160	186	62. 4%	0	89. 4%
南信濃		989	560	610	61. 7%	2	97. 0%
合 計		93, 092	40, 464	31, 352	33. 7%	514	63. 5%
合 計	R 7 . 3 . 31	94, 193	40, 345	31, 604	33. 6%	559	65. 8%
	R 6 . 3 . 31	95, 400	40, 257	31, 896	33. 4%	639	67. 7%
	R 5 . 3 . 31	96, 557	40, 151	32, 109	33. 3%	611	68. 0%
	R 4 . 3 . 31	97, 750	40, 076	32, 286	33. 0%	686	69. 4%

注1：組合加入率は、各自治振興センターより提出された定期監査資料の独自調査による数値を使用した。

注2：平成24年7月9日の住民基本台帳法改正に伴い、外国人住民も含まれた数値である。

○ 65歳以上の高齢者の人口に占める割合（高齢化率）は、市全体で前年度に比べて0.1ポイント上昇している。また、組合加入率は、市全体で前年度に比べて2.3ポイント低下している。

(2) まちづくり委員会等の状況

ア 役員等の状況

(令和8年4月1日現在)

地区名	単位自治会数	地域協議会等			まちづくり委員会等		
		委員数 (人)	内公募 委員数 (人)	内女性 委員数 (人)	委員会 等の数	委員数 (人)	内女性 委員数 (人)
橋 北	20	17	2	5	5	161	52
橋 南	38	18	4	6	6	213	52
羽 場	12	21	4	8	9	163	46
丸 山	11	19	4	6	7	147	45
東 野	18	16	3	7	5	163	61

地区名	単位自治会数	地域協議会等			まちづくり委員会等		
		委員数 (人)	内公募 委員数 (人)	内女性 委員数 (人)	委員会 等の数	委員数 (人)	内女性 委員数 (人)
座光寺	18	20	3	7	5	169	77
松 尾	12	24	4	6	7	224	53
下久堅	7	18	5	6	6	261	95
上久堅	13	14	2	5	10	108	22
千 代	11	11	2	4	8	105	21
龍 江	33	17	3	7	5	82	12
竜 丘	5	18	3	7	6	76	18
川 路	7	16	3	5	8	139	42
三 穂	13	12	2	4	5	102	28
山 本	29	19	3	9	5	148	62
伊賀良	8	20	3	8	6	309	101
鼎	10	21	4	9	10	365	118
上 郷	10	22	4	7	6	220	20
上 村	4	10	2	3	4	47	11
南信濃	35	11	2	4	6	93	24
合 計	314	344	62	123	129	3,295	960
前年度	315	344	62	116	129	3,306	973

イ パワーアップ地域交付金等の状況

(令和8年3月末日現在)

地区名	パワーアップ地域交付金		まちづくり委員会等の収支		
	交付金額(円)	収入に占める割合	収入決算額(円)	支出決算額(円)	収支残(円)
橋 北	3,838,086	29.9%	12,832,427	9,542,867	3,289,560
橋 南	3,648,886	27.4%	13,337,381	9,759,977	3,577,404
羽 場	5,180,374	34.3%	15,087,838	14,116,953	970,885
丸 山	4,140,118	26.7%	15,479,844	12,063,653	3,416,191
東 野	3,806,438	31.9%	11,936,292	10,482,064	1,454,228
座光寺	4,785,462	13.1%	36,650,815	28,043,981	8,606,834
松 尾	10,755,926	22.8%	47,261,311	42,586,805	4,674,506
下久堅	3,711,494	15.4%	24,101,597	19,969,569	4,132,028
上久堅	2,749,670	16.4%	16,720,157	14,482,008	2,238,149
千 代	2,945,062	16.1%	18,245,563	13,643,158	4,602,405
龍 江	3,703,926	15.9%	23,300,599	17,750,712	5,549,887
竜 丘	6,468,310	19.3%	33,478,586	27,805,936	5,672,650
川 路	3,317,270	17.9%	18,504,673	14,590,983	3,913,690
三 穂	2,871,446	26.3%	10,910,446	9,183,394	1,727,052
山 本	4,968,472	28.0%	17,720,112	15,755,496	1,964,616
伊賀良	11,534,056	20.3%	56,873,171	37,546,368	19,326,803
鼎	10,855,688	22.7%	47,800,791	38,057,650	9,743,141
上 郷	10,818,536	31.7%	34,142,057	32,175,587	1,966,470
上 村	2,204,774	24.9%	8,857,644	8,046,231	811,413
南信濃	2,696,006	20.9%	12,918,803	11,865,532	1,053,271
合 計	105,000,000	22.1%	476,160,107	387,468,924	88,691,183
前年度	105,000,000	21.6%	485,135,480	388,465,631	96,669,849

注：パワーアップ地域交付金は、人口割と均等割により算定されている。

2 公立保育園

(1) 施設の状況

(各年度4月1日現在 管内公立保育園)

区分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
保育園数	16	16	15	15	15
内未満児保育	12	12	11	11	11
内長時間・延長保育	14	14	13	13	13
入所定員 (人) (A)	1,125	1,125	1,022	1,022	1,022
入所人員 (人) (B)	827	737	619	595	571
3歳以上 (人)	656	574	483	460	450
3歳未満 (人) (C)	171	163	136	135	121
充足率 (B)/(A)	73.5%	65.5%	60.6%	58.2%	55.9%
未満児割合 (C)/(B)	20.7%	22.1%	22.0%	22.7%	21.2%

○ 松尾東保育園は令和6年4月1日から民営化された。

○ 充足率は前年度に比べて2.3ポイント低下している。

(2) 職員の配置状況

(各年度4月1日現在 管内公立保育園)

区 分	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
保育士 (人)	241	248	214	209	213
正 規 職 員	79	80	78	77	77
会計年度 任用職員	フルタイム パートタイム	31 131	33 135	24 111	25 111
正規割合	32.8%	32.3%	36.4%	36.8%	36.1%
調理員 (人)	31	30	29	30	29
正 規 職 員	13	13	11	11	11
会計年度 任用職員	フルタイム パートタイム	0 18	0 17	0 19	0 18

(3) 保育料の収納状況

(各年度3月末日現在)

区 分		令和6年度		令和7年度	
		現年度分 (円)	過年度分 (円)	現年度分 (円)	過年度分 (円)
公立計	調定額	20,971,250	189,700	20,949,140	29,400
	収入額	20,971,250	160,300	20,823,090	0
	未納額	0	29,400	126,050	29,400
	収納率	100.0%	84.5%	99.4%	0.0%
私立計	調定額	20,829,900	1,272,080	14,718,750	1,005,350
	収入額	20,661,200	370,230	14,611,050	244,350
	未納額	168,700	901,850	107,700	761,000
	収納率	99.2%	29.1%	99.3%	24.3%
合 計	調定額	41,801,150	1,461,780	35,667,890	1,034,750
	収入額	41,632,450	530,530	35,434,140	244,350
	未納額	168,700	931,250	233,750	790,400
	収納率	99.6%	36.3%	99.3%	23.6%

3 各地区公民館

(1) 各地区公民館における令和7年度予算執行状況

(令和8年3月末日現在)

区 分	予算額合計(円)	執行額合計(円)	予算残額(円)	執行率
管理費	7,956,000	7,473,490	482,510	93.9%
事業費	6,751,000	5,868,851	882,149	86.9%

注1：管理費は、公民館の管理に直接掛かる費用（消耗品費及び燃料費）である。

注2：事業費は、公民館の事業実施に係る費用（報償費、消耗品費、印刷製本費及び通信運搬費）である。

(2) 公民館事業の概要

20地区の公民館事業の概要は次のとおりである。

事業種別	令和6年度		令和7年度		増減	
	回数	延人数・部数	回数	延人数・部数	回数	延人数・部数
学 級 ・ 講 座	1,239回	22,125人	1,165回	19,828人	△74回	△2,297人
体 育 事 業	140回	17,918人	125回	15,534人	△15回	△2,384人
文 化 事 業	199回	30,146人	170回	33,777人	△29回	3,631人
広 報 事 業	109回	35,890部/回	109回	35,840部/回	0回	△50部/回
育 成 事 業	108回	4,287人	90回	4,202人	△18回	△85人
そ の 他 事 業	1,222回	34,688人	1,388回	38,408人	166回	3,720人

○ 各地区公民館では、「学級・講座」においては乳幼児学級等、「体育事業」においてはスポーツ大会等、「文化事業」においては文化祭等、地区の状況に沿った様々な事業が行われている。

第8 監査結果に基づき講じた措置の報告（地方自治法第199条第14項の規定に基づくもの）

1 令和8年度監査報告書Ⅰ（定期監査・前期）指導事項

指導事項	措置状況
一部の自治振興センターにおいて、施設整備工事費にかかる支出負担行為決議が、契約締結時になされていないことを認めた。支出負担行為決議漏れが発生しない仕組みを構築するとともに、地域自治振興課においては、各自治振興センターに周知徹底を図ること。	会計事務について、改めて各自治振興センターに周知徹底を図るとともに、毎月の所長会で注意喚起を行います。 また、令和8年度から本格運用を開始した内部事務システムは、支出負担行為決議の未処理一覧が確認できるため、これを自治振興センター職員が複数でチェックすることにより、支出負担行為決議漏れを防止します。 【地域自治振興課】 【各自治振興センター】

2 令和8年度監査報告書Ⅰ（定期監査・前期）検討要望事項

検討要望事項	措置状況
(1) 各地区において、委員会、部会等の組織の見直し、会議時間の短縮、会議回数の縮減など役員の負担軽減につながる取組を認めた。地域自治振興課及び各自治振興センターは、各地区で市からの依頼事業と地区独自の実施事業の必要性、内容等を整理し、事業の見直しが行われるよう、改善事例を横展開し、各地区の特性に応じた役員負担軽減につながる業務改善の取組を支援されたい。	(1) 令和7年度末から令和8年度当初にかけて、各部局等における行政協力業務の洗い出しと見直しを行い、併せて自治活動組織の負担を軽減させる方法や自治活動組織のみに頼らない方策などの検討を行っているところです。 引き続き各部局等で検討を行うほか、所長会及び所長会プロジェクトにおいて、行政協力業務や地区独自の事業の必要性などの再確認を行い、各地区の特性に応じた役

検討要望事項	措置状況
	員負担軽減につながる業務改善の取組を支援します。また、まちづくり委員会連絡会議において、各地区の好事例や改善事例を共有します。 【地域自治振興課】 【各自治振興センター】
(2) 熊の目撃情報が度々報告されていることを受け、保育家庭課及び各保育園は、庁内関連部署と連携し、保育活動中の熊との遭遇回避や遭遇した場合のための装備品を検討し、各園に配備されたい。また、保育家庭課は保育園共通の熊出没時の対応マニュアルを、各保育園は自園の実情に即した初動対応マニュアルの策定を検討するとともに、避難訓練に盛り込むなどし、園児と職員の安全確保に努められたい。	(2) 熊との遭遇回避や遭遇した場合に必要な装備品についてリストアップし、各園の配備状況を確認しました。園内外の保育中、登降園時に備えるべき備品について、必要な配備を進めます。また、熊出没時の当面の対応方法については「クマ対策マニュアル（案）」を策定し、各園へ周知しました。今後、保育家庭課及び園長会にて、各園の実情に即した対応方法を加えるなど内容を強化したうえで、年度内に危機管理マニュアルの個別マニュアルとして位置付け、こども、保護者、職員等関係者の安全確保に努めます。 【保育家庭課】 【各保育園】
(3) 各保育園において、地域活動事業費を活用し、地域と密着した特徴ある様々な取組が展開されていることを認めた。引き続き、地域資源を活用して積極的に地域の方々と交流し、当市独自の「いいだ型自然保育」を推進されたい。	(3) 今後も今までと同様に、いいだ型自然保育の特徴でもある農作業や歴史探訪、世代間交流などの地域資源を活かし、地域の方との交流や体験を通じて、「いいだ型自然保育」を推進します。 【保育家庭課】 【各保育園】
(4) 一部の保育園で、定員充足率が継続的に大幅に低下していることを認めた。各園の特色ある取組、運営方針等を様々な手法で地域内外へ発信し、園児の確保に努められたい。	(4) 保育施設の現状を整理し、保護者の声や地域の意見を聞きながら、公立保育園の今後の方向性について検討していきます。 加えて、県のポータルサイトやSNSを活用し、自然保育の体験活動や子どもたちの様子を県内外へ継続して発信し、新たに、いいだ型自然保育の魅力を伝えるため、広報いいだ（特集記事）の掲載やショート動画を作成しYouTubeなどでターゲットとなる世代へ効果的に配信することで、飯田市の保育の魅力をアピールし、園児の確保に努めていきます。 【保育家庭課】 【各保育園】
(5) 各公民館において、委員会、部会等の組織の見直し、会議時間の短縮、会議回数の縮減など役員の負担軽減につながる取組を認めた。市公民館及び各公民館は、各地区で公民館事業の必要性、内容等を今一度整理し、更なる事業の見直しが行われるよう、改善事例を横展開し、	(5) 第一段階として、横展開できる取組（会議開催時には、議題となる内容を予め明確に伝え、会議に参加してもらうこと等）から実践し、専門委員の皆さんが主体的に考え対話できる場を整えます。 また、専門委員の皆さんが、公民館の目的

検討要望事項	措置状況
各地区の特性に応じた役員負担軽減につながる業務改善の取組を支援されたい。	である「誇りと愛着を持って住み続けられる地域づくり、人づくり」を基盤とした関係性を築き上げていく中で、事業目的、内容の見直しを行い、必要に応じた会議時間の短縮など各地区の特性に応じた役員負担軽減につながる改善に向けた検討、取組を支援していきます。加えて、取組の内容を、公民館長会・主事会等において共有を図り、他館の改善事例を参考とし、自館の取組へとつなげていきます。 【市公民館】 【各公民館】
(6) 全公民館において、「ハマコミる（地域や活動にハマってコミットする・コミュニティが広がるという意味の造語）」を、公民館活動を推進するための共通の考え方と位置づけ、担い手や住民同士の良好な関係性を育むために様々な取組が展開されていることを認めた。「ハマコミる」の考え方を多くの地域住民に浸透させるとともに、公民館活動に関心のある人材の発掘につなげるよう努められたい。	(6) 飯田市の公民館は、地域に着目した学習と交流を深め「みつける つながる 育てる 実現する場」として機能し、暮らしの場で住民同士の良好な関係性を育み、自身の願いや関心事がみんなの実現したいこととなり、ハマコミるサイクルが展開される学習活動を推進しているところです。 令和８年度の公民館活動の重点目標を「みんなの声で楽しいをひらく。そして地域の力・未来の力に！」としています。「みんなの声」から始まることで、自分たちの地域や暮らしを「もっとこうしたい」という願いが生まれ、「楽しい」という思いからみんなが自然と集まりたくなる、そして関わりたくなる活動を展開し、新たな人材の発掘につなげていきます。 【市公民館】 【各公民館】
(7) 各公民館において、中高生を含む若者を巻き込んだ取組が展開されていることを認めた。また、一部の地区で若者が企画した新たな事業に同世代が参画する事例も認めた。引き続き、将来の公民館活動へのきっかけ作りとして、中高生のボランティア参加、中高生を含む若者のアイデアを活用した事業を推進し、地域の特色を生かした公民館活動が継続されるよう支援されたい。	(7) 公民館活動は、幼少期から大人までの参加と、世代が循環し途切れることなく自然と地域社会へとつながっています。各公民館において、世代を問わず「かかわりあえる」関係性を創出し、良好なコミュニティが循環できるよう次代を担う若者の地域参画を積極的に促進していきます。 取組の内容は、公民館主事会プロジェクト及び主事会で情報共有し、地域の特色を生かした公民館活動が継続されるよう支援していきます。 【市公民館】 【各公民館】